

水土里ネットの和

発行：水土里ネット和歌山(和歌山県土連) 和歌山市雑賀屋町1番地

会長：二階俊博 TEL：073-432-2567 FAX：073-433-1490



写真(広南広土地改良区 田植え)



主な内容 (CONTENTS)

○副会長挨拶(中山副会長)	2
○和歌山県土地改良事業団体連合会通常総会	3
○全国土地改良功労者等表彰	4
○近畿水土里ネット連合協議会総会	5
○全国農業農村整備の集い	6
○令和8年度予算に向けた国への提案活動	7
○近畿水土里ネット連合協議会から国に提案	8
○ため池サポートセンター(水難事故防止研修会)	9



ご挨拶

和歌山県土地改良事業団体連合会
副会長 中山 正隆

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、皆様には、水土里ネット和歌山の活動及び運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、近年の農業情勢は、これまでにないスピードで変化しております。地球温暖化の影響による異常気象は、猛暑、干ばつ、暴雨といった影響を及ぼすとともに、食料安全保障の重要性が叫ばれる中で、国際情勢の不安定化は肥料などの生産資材価格の高騰を招き、農業経営を圧迫しています。さらに、農村地域に於いては農業従事者の高齢化と減少、耕作放棄地の増加といった状況も依然として深刻な課題でございます。

このような情勢の中で、改めてその重要性が認識されるのが土地改良事業であり、基盤整備をはじめ、農業用水路の整備等を通じて農業生産の効率化と安定化を図るだけでなく、農地の多面的機能の維持・向上にも不可欠な役割を持っています。

国においては、土地改良法の改正により、農業水利施設の老朽化や農村人口の減少、気候変動による災害リスクの増大に対応するため、基幹的な農業水利施設の計画的な更新や防災・減災、国土強靱化、スマート農業や担い手のニーズに対応した基盤整備、土地改良区の体制及び運営並びに土地改良事業の適正な実施に関する措置が定められました。

当連合会に於いても、こうした施策の実現に向けて国や関係機関と連携しながら喫緊の課題解決に尽力してまいりますので、会員の皆さま方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員諸団体の益々のご発展を祈念しまして挨拶とさせていただきます。



和歌山県土地改良事業団体連合会通常総会

令和7年3月23日(日)、15時からアバローム紀の国にて、和歌山県土地改良事業団体連合会の第67回通常総会が開催されました。

和歌山県下副知事を始め、相本近畿農政局長、佐藤和歌山平野農地防災事業所長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、堀県議会農林水産振興議員連盟土地改良部会長、など



総勢14名の来賓の方々がお越しく下さいました。

総会では、議長に有田川土地改良区の星田理事長が選任され、上程された11議案について、全会一致で会員の承認が得られました。



議案項目は、以下のとおりです。

- 第1号議案 令和5年度事業報告について
- 第2号議案 令和5年度収支決算について
- 第3号議案 令和5年度財産目録について
- 第4号議案 令和6年度収支予算補正について
- 第5号議案 令和7年度事業計画について
- 第6号議案 令和7年度収支予算について
- 第7号議案 令和7年度賦課金の徴収方法及び時期について
- 第8号議案 令和7年度余裕金の預入先及び運用方法について
- 第9号議案 令和7年度一時借入金の限度並びに借入方法について
- 第10号議案 令和7年度役員報酬について
- 第11号議案 役員を選任について

今回の総会により有田川土地改良区星田理事長、名田周辺土地改良区山野理事長、上富田町奥田町長、古座川町大屋町長が新理事に日高町松本町長が新監事に選任されました。



また、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤議員、宮崎議員は来賓退席後、別室において土地改良区職員等との意見交換会が開催され、土地改良区の基盤強化について活発な意見交換が行われました。

全国土地改良功労者等表彰

3月26日(水)15時から東京都シェーンバッハ・サボーにて第66回全国水土里ネット表彰式が開催されました。



功労者表彰として、農林水産大臣表彰を有田川土地改良区が受賞されました。



全国土地改良事業団体連合会会長表彰の団体表彰を新六箇井土地改良区が受賞されるとともに、全国土地改良事業団体連合会会長表彰の役員表彰に海南野上土地改良区 森脇 久行 理事長が受賞され、職員表彰を日高川土地改良区 塩路美子 事務長が受賞されました。



二階会長、宮崎議員と記念撮影

近畿水土里ネット連合協議会総会

6月2日(月)にホテルグランヴィア和歌山において、近畿6府県の土地改良事業団体連合会で構成される「近畿水土里ネット連合協議会」の総会が開催されました。



総会では、二階会長が主催者の挨拶を行い「近年自然災害の多発や農業従事者の急減などの問題が顕著化している状況下でも、土地改良が果たしてきた役割を引き続き適切に発揮することで、食料を安定的に供給し続ける環境整備を図ることが責務である」との挨拶がありました。

次に、来賓挨拶として近畿農政局平山農村振興部長、和歌山県川尾農林水産部長から祝辞を頂き、全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員からはビデオメッセージにより祝辞を頂きました。



平山農村振興部長から祝辞

議事は、

- ・令和6年度 事業報告及び収支決算について
- ・令和7年度 事業計画及び収支予算(案)について
- ・国への施策提案について

の3議案でしたが、すべて承認を頂き滞りなく終了しました。

また、総会後に近畿農政局農村振興部土地改良管理課、近畿各府県からの情報提供を頂きました。



翌日3日(火)は、日高町で実施している県営農業競争力強化農地整備事業「小浦地区」で現地研修を行うとともに、歴史及び防災をテーマに濱口悟陵記念館・津波防災教育センターを見学しました。

農業農村整備の集いに参加

6月18日(水)に東京のシェーンバッハ砂防において、全国土地改良事業団体連合会主催の令和7年度第1回「農業農村整備の集い」が開催され、全国から1,200人を超える出席者と多数の国会議員や農林水産省からの来賓も出席し盛況に行われました。本県からも25名が参加しました。



主催者の二階会長から、「食料農業農村基本法に基づき食料安全保障の確保のために欠かせない土地改良事業を推し進めて行くために、我々関係者はしっかりと団結していかなければいけない」という挨拶がありました。

次に、来賓挨拶として小泉農林水産大臣、森山自民党幹事長、滝波農林水産副大臣、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員から祝辞がそれぞれ述べられた。

続いて、「土地改良事業の計画的な推進に必要な予算の確保」など8項目の要請文が佐賀土地改良事業団体連合会の金澤理事より朗読され、全会一致で採択されました。

その後、全国水土里ネット会長会議顧問である宮崎雅夫参議院議員より情勢報告がありました。

最後に要請の実現に向けて「がんばろう三唱」の発声が行われ農業農村整備の集いは閉会となりました。

集い終了後には、二階俊博会長、鶴保庸介副会長(参議院議員)、山本大地衆議院議員との懇談会を都市センターホテルにて開催致しました。



二階会長との記念撮影

令和8年度予算に向けた国への提案活動を実施

6月18日(水)の「農業農村整備の集い」終了後、「県土連」、「ため池保全整備連絡協議会」、「国営農地防災事業推進協議会」合同で農林水産省、財務省、関係国会議員に提案活動を行いました。

今回は、

- ①農業農村整備事業推進に必要な予算の確保
- ②国営事業の推進と早期着手の実現
- ③ため池の改修・廃止による防災対策を推進するため必要な予算の確保
- ④ため池管理者が担っている防災上の必要な管理作業に対して直接支援できる制度の拡充
- ⑤多面的機能支払交付金の予算確保の5項目について要望を行いました。

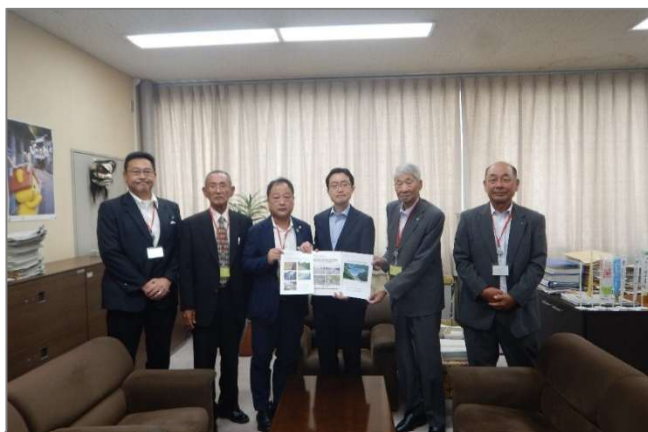


財務省・山川主計官と面会

農林水産省の前島農村振興局長、青山農村振興局次長、石川整備部長、財務省の山川主計官とそれぞれ面会し提案内容の説明を行った後、意見交換を行いました。

翌日は、県選出及び関係の国会議員、農林水産省関係各課を個別に訪問して要望書を提出しました。

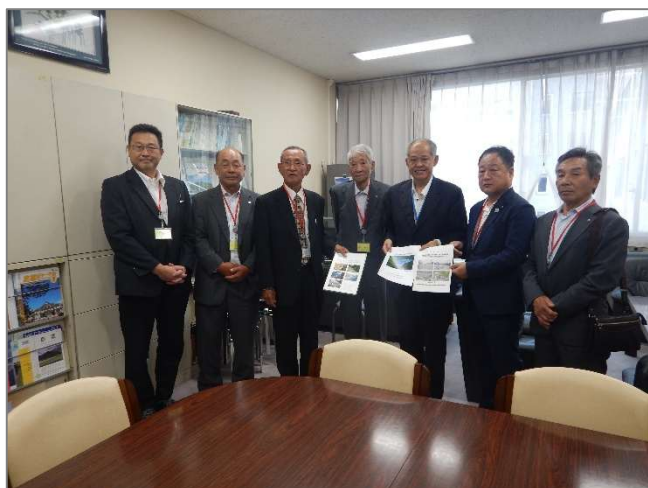
今後も、機会を捉えて和歌山県の土地改良に必要な施策の提案・要望を行ってまいります。



前島農村振興局長と面会



青山農村振興局次長と面会



石川整備部長と面会

近畿水土里ネット連合協議会から国に提案

6月11日(水)、近畿農政局において、近畿管内の土地改良事業団体連合会が合同で相本近畿農政局長に対し提案の趣旨説明及び各府県からの重点要望事項の説明を行いました。

面会の後、平山部長、宮本地方参事官及び関係各課の課長と提案事項に関する意見交換を行いました。

6月25日(木)には、農林水産省、財務省、国会議員に対し農業農村の振興に関する提案を行いました。

最初に、財務省の宇波主計局長、山川主計官と面会し提案の趣旨説明の後、各府県からの重点要望事項の説明を行いました。その後、農林水産省に移動し笹川農林副大臣、前島農村振興局長、青山農村振興局次長と面会、議員会館において進藤金日子参議院議員及び宮崎雅夫参議院議員に提案書を提出し、最後に農村振興局幹部職員と意見交換を行いました。

提案の内容は、昨年改正された食料・農業・農村基本法の基本理念を基に、近畿の農業・農村の振興に向けて取り組んでいくことが必要であるとして、次の項目としました。

- ① 農業農村整備事業の着実かつ円滑な推進
ならびに関係予算の確保
- ② 土地改良施設等の管理に対する支援制度
の充実
- ③ 災害復旧事業への支援制度の充実と強化
- ④ 日本型直接支払制度の円滑な推進
- ⑤ 土地改良区の運営基盤の強化
- ⑥ 土地改良事業団体連合会の運営基盤強化



相本近畿農政局長と面会



宇波主計局長・山川主計官と面会



笹川農林副大臣と面会



農村振興局幹部職員と意見交換

水難事故防止研修会（ため池サポートセンター）

県内にはため池が約4,700箇所あり、農業用水の供給や生物の生息、洪水調節など多面的な機能を持つ半面、全国で20件以上の水難事故が発生していることから、県が委託するため池サポートセンターでは、毎年、水難総合研究所の協力を得て小学生を対象に、ため池の役割や万が一ため池に落ちた場合にとるべき行動「浮いて待て」について学んでいただいています。



昨年は紀美野町野上小学校(4年生)で開催

第47回全国土地改良大会（佐賀大会）



全国土地改良大会は「農業・農村の重要性」とそれを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールして国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、広く次世代へ引き継いでいくことを目的として開催されます。

令和7年度の第47回全国土地改良大会は10月15日(水)に佐賀県で開催されますので、詳しい内容は特設ホームページをご覧ください。

<https://www.midorinet-saga.jp/47-tochikairyo-taikai/>

【編集後記】



【表紙の写真】 地域の子供たちによる田植え（広川町）

広南広土地改良区が構成員となっている「ひろがわ地域資源保全グループ」が毎年行っている多面的機能支払(共同活動)での取組です。広川町立広小学校と広川なかよしこども園の子供達が参加して、泥の感触に歓声を上げながら「もち米」の田植え体験を行いました。

秋には収穫体験を行い、収穫したもち米で餅つき大会が開催されます。

